

設立趣旨書

近年少子化と言われていますが、発達障がいや知的障がいを持つ子ども達の数が増加傾向にあり、学校教育や地域社会における支援の重要性が叫ばれています。理由の一つとして、両親の共働きにより放課後や長期休暇中における子ども達の居場所づくりや、個々の特性に応じた療育の提供は保護者さんの大きな願いであり、課題となっています。

しかしながら、当地域においては、まだ放課後等デイサービスの存在を知らない保護者の方々が多く、安心して過ごせる場所、又、将来の自立に向けたスキルを育める場の情報発信が不足している状況です。このような背景から、地域に根ざした放課後等デイサービスを設立し、保護者の方々が安心して子育て出来る環境づくりと、子ども達の健全な成長を支援することを決意致しました。

当法人の設立代表者である小谷禎子は、長年にわたり保育園で加配保育士として勤務してまいりました。その中で、発達障がいや知的障がいの特性を持つ子どもたちが、集団生活の中で直面する困難や、居場所がないことによる孤立感を目の当たりにしました。

特に印象だったのは、ある自閉症スペクトラム障がいを持つ児童A君のケースです。私の姿が見えなくなると大泣きでパニック状態。そして教室内の飛び出しもありました。そして就学前には、親御さんから放課後の預け先がないという切実な声を伺っておりました。その経験から、学校という限られた空間だけではなく、放課後という自由な時間の中でこそ、個々の特性に合わせたきめ細かな支援が必要だと痛感いたしました。保育の現場での経験を通して得た専門的な知識や、子ども一人ひとりの個性に寄り添うスキルを活かし、この地域に安心できる居場所を提供したいという強い思いが芽生えました。

そして障がいを持つ子どもたちの成長に深く関わる重要な事業が放課後等デイサービスです。NPO 法人化により、常勤スタッフの雇用や専門研修の実施が可能となり、経験を持つスタッフによる質の高い専門的な療育プログラムを継続的にかつ安定的に提供でき保護者や地域住民からの信頼も得やすくなります。

私たちはNPO 法人として、子どもたち一人ひとりが安心して自己表現でき、自信を持って様々な活動に挑戦できる「第二の家」のような温かい居場所を目指しています。単なる預かりではなく、遊びや生活の中で社会性や生活スキルを育み全ての

子どもたちが笑顔で自分らしく成長できる未来を実現します。

そして学校（保育園）、行政、医療機関、地域のボランティアと積極的に連携し、地域全体を盛り上げ障がいを持つ子どもたちを支えるネットワークを構築します。保護者向けの相談会（交流会）や情報提供も定期的の実施し、子育ての不安軽減に努めます。

具体的な目標としては、子どもたち一人ひとりの個性を深く理解し認め、その強みや得意なことを伸ばすオーダーメイド型の療育です。保育現場で培ったノウハウを活かし、個別の支援計画に基づいた活動を行っていきます。例えば集団生活が苦手なお子様には、まず少人数での課題を通して成功体験を積み重ね、自信をつけてから集団活動へ参加を促すなど、個別のペースを尊重した支援を行います。そして資格を持つスタッフは遊びを通じた情緒の安定、家庭との連携等を実現します。地域全体で子どもたちの成長を見守る体制を軸に、子どもたちの将来の一員として自立し、自分らしく生活でき、誰もが暮らしやすい地域社会の実現に向けて誠心誠意、長期的な視点で事業に取り組むことを誓います。

令和8年1月9日

特定非営利活動法人

発起人代表 小谷禎子

設立経緯

学校教育の枠を超えた、地域に根ざした安心できる居場所と、個々の特性に応じた専門的な療育が重要な課題であると考え、志を共にする発起人達と共に 特定非営利活動法人 Amie を設立することになりました。

令和7年12月4日 令和8年12月17日

発起人会を開き、設立の趣旨・設立当初の役員などについての案を審議しました。

令和7年12月4日

発起人会を開き、定款・令和7年度及び令和8年度の事業計画及び活動予算などを提案し審議しました。

令和7年12月4日 令和7年12月17日

設立総会を開き、上記内容を審議のうえ決定しました。